

G経営セミナー開催

「コスト削減」事例紹介

交通エコロジー・モビリティ財団（交通エコモ財団、井山嗣夫会長）

は二月二十三日、平成二十三年度グリーン経営認証リーダー研修会を開催した。認証取得した事業者への情報提供サービスの二環として実施しているもの。

エコ運転実践 で事故が減少

研修会では、認証取得事業者の実践事例紹介として、堀切運輸（本社・埼玉県八潮市、志村徳二社長）、濃飛倉庫運輸（本社・岐阜市、小澤義行社長）の二社が登壇した。

堀切運輸の志村浩司総務部課長は、認証取得前に比べてドライバーの運転

環境意識向上・徹底のため、繰り返し必要性を説き、勉強会を重ねた経緯を紹介した。同社は、優良ドライバーには報奨金を出し、モチベーションを高めたという。「事故・車両修理に費用を充てるよりずっと良い。省エネ・エコは一企業としても、業界全体のイメージアップにも不可欠」（志村課長）。

「従業員の教育が最重要」

濃飛倉庫運輸の亀山耕史コンプライアンス部長も、研修・教育とその継続により、従業員の理解を進めることが何より重要であると強調した。

取り組みにより、十六年度に比べ、二十二年の二酸化炭素排出量はトラック輸送事業で一七・〇％、倉庫事業で一・一九